

JUMP COMICS



雷

呼

MEDAKA-
BOX

めだか
ボックス

15

「勝ち」とはなんだ？」



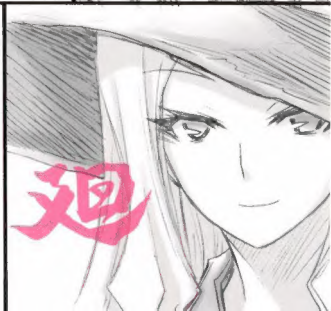
長



大

はたらかい

原作 西尾維新
漫画 暁月あきら





めだかボックス 15



原作 西尾維新
漫画 暁月あきら

集英社

原作 西尾維新
漫画 暁月あきら

「勝ち」とは
なんだ？」

15



9784088704210



1929979004002

ISBN978-4-08-870421-0

C9979 ¥400E

定価 本体400円＋税



ジャンプ・コミックス

雑誌 47442-21

やみ 雲にめだかに勝つことを求めている番吉が、名実
間 ともに彼女への「勝ち」を手にするため、思いも奇
らめ決断を下す。一方、第三勢力を率いる球磨川は、全
委員長達を取り込もうと、彼らにある勝負を持ちかけ！

MEDAKA-BOX

★この作品はフィクションです。実在の人物・
団体・事件などには、いっさい関係ありません。

JUMP COMICS



原作

西尾維新

漫画

暁月あきら

「勝ち」とは
なんだ？」

1/5



人物紹介

めだかボックス

しんぷつしょうかい



くろ かみ
黒神めだか

所属:一年十三組

血液型:AB型

生徒会長

く ま がわ みやま
球唐川 禎

所属:三年マイナス十三組

血液型:AB型

副会長



あ く ね 高 貴
阿久根高貴

所属:二年十一組

血液型:AB型

書記



ひと よし 吉
人吉善吉

所属:一年一組

血液型:AB型

席務

き かい 島 も が な
喜界島もがな

所属:一年十一組

血液型:AB型

会計





安心院なしみ



不知火半燈



黒神良黒



名瀬天歌

(黒神くしち)



不知火半袖



鶴屋丸



鯨塚執理



財部依奈



江迎悠斗



希望か行水品



轟々津姫々



与次郎次郎

STORY

ストーリー

黒神めだか率いる箱庭学園生徒会。これまでの善吉、阿久根、喜界島に、副会長として球磨川が加わり、五人での活動が始まった。

安心院なしみの計略によりめだかと仲違いした善吉は、彼女を倒し、自らが「主人公」になることを決意。それを受け、名瀬、宗像、真黒、不知火半袖らが善吉を応援する側に。一方、球磨川は喜界島と候補生五人を率い第三勢力を結成する。

そんな中、安心院が送り込んだ人物・鶴屋丸が善吉、めだかと接触。阿久根が善吉派に回り、孤立しためだかと戦うが…!?

MEDAKA

CONTENTS

15

第125箱	「『勝ち』とはなんだ？」	7
第126箱	「人の心に大切なのは」	27
第127箱	「だからめだかちゃんには」	47
第128箱	「正義と違って必ずしも」	67
第129箱	「ゆえにこのゲーム間違いなく」	87
第130箱	「楽しんで欲しいじゃん」	107
第131箱	「罨を張ればいい」	127
外伝	ケットルサー球磨川	149



BOX



黒神めだか

うん

仲間いないほうが
強いみたい。

第125箱

「『勝ち』とはなんだ？」



はっはっは！
かようなたわ書を
書きみにしないでください
お兄さま お姉さま

お二人が勝より
ご存知の通り
めだかは

仲間がいなければ
何も出来ない女ですよ

勝負とは言え
少々痛めつけ
過ぎましたかね

どうやら彼は
負傷で朦朧と
しているようです



どれ……は
めだか
責任を取って

治療して
あげると
しますかな

な……
お前それ！

赤青黄の
「五本の病爪」……？

ええそうです——
よくご存知ですね
お姉さま

ああ！なるほど
安心院なじみから
聞いたのですか

私は先ほど
高貴から
聞いたのです

高貴は候補生選から
聞いたそうですが——
いやはや

赤二年生が
悪平等だったとは
意外な驚きでしたな



おいおいちよつと待てよー
そんな伝言ゲームみたいな
情報からスキルを再現
したっていうのか？

觀察さえも必要とせず
推理と仮説だけで
「完成」を究動させた
のかよー

しかも「五本の指爪」は
基本的にはマイナス寄りの
スキルだったはず

つまりちやめだかちゃん
は「アブノーマル」とか
マイナスとか
関係なく体現
できるんだ！



悔意は無い。
謝罪はしていた…

なんていうか…
そりゃ無茶なんだろうけど

それに主人公云々は
置いておくにしても

俺とか兄貴とかが応援すれば
人吉だって鬼神に勝てるんじゃ
ないかって
それが最終的には
ふたりのためになるんじゃ
ないかって…



だけでもう

これはもう
そういう次元の問題じゃなく…

せ！それでは
舞りましようか
お兄さま お姉さま

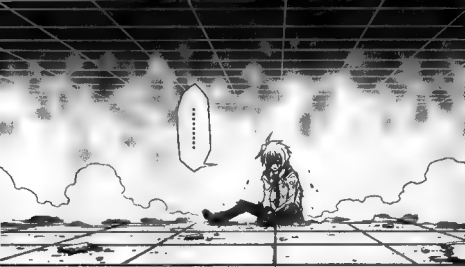
ぞつだ！
どうです久し振りに
兄妹水入らずで
舞らうというのは！

舞臺の軌道を殺して
これから三人で
ダーツバーにでも
行きましよう！

妹とは最早
誰一人

勝負そのものが
成立しないかもしれない――





どうだった？
鶴喰くん

黒神めだかを
体験してみた
感想は

鶴喰くん
答えてくれよ

僕は感想を
聞いたんだぜ—
どうだった？

僕のことは
懐しみを込めて
安心院さんと
呼びなさい

安心院さん…

ちいっす…

……………
ああ…えっと

あれが
きみの義姉^{あね}で



きみの実父を
殺した女だよ





.....

美緒……

ねえ？

なんか突然
わかねーですね

美理の姉なんて
いうのは

もつと晴えるもんだと
思っていましたけど



わっはっは！
それもそうか

それにゴッられ
治され

けちゃんけちゃんに
負けたあとで
感想もないよね！



いや私別に負けてないですよ？誰かにダウンはしましたけれどそれは足が滑っただけであって常態的に奪えてテンカウントまではセーフでしょ？誰かカウント取ってたの？誰も取ってなかったんだっただけこればもう引き分けとしが書えないじゃないそれはルールを最初になんと決めておかなかったあいつの責任ですよまあちゃんとルールを決めるべきだよと宣告してあげなかった私にも責任の一端がないとは言いませんけどそこまで書及するのもいい奴ぶって逆に嫌味だと思うからやっぱりあいつ一人の責任なんですよ

そもそも私としてはこんな前戦戦では全然本意を出すつもりはなかったわけですし更に言えばここで私が勝ったら勝つかわつちやうわけでしょ？いくら私でもそこまで空気読めない子供っぽい真似はしませんよあくまで私は自分の役目を心得ている大人っていうのが役目をまっとうしたという意味では私の勝ちといっても過言じゃないと思いませんか？客観的に判断してみても下さいよ誰が本道の勝者なのか大人だったら分かるはずですから

まあ確かに
きみの言う通りさ

愉快不愉快は
別にして

人間
負けたと思わなきや
負けじやないし

めだかちゃんも
あれできみに
完勝したつもりは
ないだろう

ふーむ
そうだね

人吉くんには
まずそのあたり

レクチャーしないと
駄目かもね

ああ
人吉善吉ねえ

そういうや
大丈夫なんですか
あいつ?

見込みありというのが
ついさっきまでの
私の印象だったけれど
正直わかんなく
なっちゃいましたよ

安心院さんは
本当にあいつが
めだかに勝てる
と思うんですか?

勝たせるさ

そのために
ジャンプ院者には
伝統的に評判の
悪い

修業パート
なんてのを地道に
やってるんだから

とりあえず
彼は今
全盛期の僕と





絶賛
特訓中だぜ



ふむ素晴らしい！
さすがに長年
めだかちゃんのそばに
いただけのことはあるね

きみは誰かと
チームを組んで
戦うのが
とてもうまいよ

だが悲しいかな
それはきみが生粋の
パートナー体質で
あることを意味する

人をサポートするのは
うまくとも自分が
主役となって戦うのは
苦手なのさ

メインを張ることの
できない生来の
サブキヤラクターって
感じかな

……
そういう

なんか地味に
傷つくような
ことを

横ビースしながら
言ってるじゃ
ねーよ!!

あつとあ

「荒廃」

「した」



『腐花』！

レシアアアアアアアア



すごいな江連……
ただでさえ能力な
漢を

事柄はりに
コントロールできるように
なってる……

いやだから
違うって

決して戦うタイプ
とは言えない
江連ちゃんでも

きみと組めばこれだけの
パフォーマンスを発揮
できるということさ



ともかくその
パートナ―体質から
脱しないことには
人吉くん

きみは
生まれ変わっても
主人公にはなれないぜ

最低限あんたに勝てなきゃ
めだかちゃんに
勝てるはずがねえって
理屈はわかんだけだよ

いや…
ついかな
安心隣さん

だけど
フェイス１にしちや
レベル高過ぎたる
これ！

とんだ不機嫌だぜ
真・フラスコ計画！

わっはっは！
甘えたことを
抜かすなよ
人吉くん

育成栽培に
多少の無理は
つきものさ

とは言え
不親切と言われれば
その通りだったかな

じゃあここで
思考してみよう

ひとよし
人吉くん
きみにとって

「勝ち」とは
なんだ？

「安心院さんに
勝とう」という
真・フラスコ計画
フエイズー

これをきみは
サバットで突破
しようとしたが

もしも僕を殴る蹴るで
屈服させられたら
きみにとってそれは
「勝ち」かい？

女の子に暴力で言うことを
きかせる男を見てもきみは
そいつを「勝ち組」だと思
うかな？

あるいは小学生と
遊戯王カードで
デュエルして負けた
とき

きみは「すごい」とは
思っても
「負けた」とは思ふかい？

…言ってることは
わかるが
言いたいことが
わからぬーな

どういう意味なんだ
安心院さん

つまり
野球選手に
勝とうと思えば
サッカーではなく

やはり野球で
勝たなければ
駄目だということだ

そしてサッカー選手に
野球で勝っても
無意味なのさ

相手の得意分野で
勝って初めて

それを勝利と
呼べるってことが

その通りだー
実際めだかちゃん
そういう風に
戦うだろう？

横綱相撲というか
なんというかー
相手の土俵でしか
彼女は戦わない

非戦を選んだ
僕に対しては
同じく非戦で
応じてきたようにね

……戦半戦のときの
「人間比べ」を思い出すな

「負けたと
思ったほうの
負け」

そう言えば
あれも球磨川に
合わせたルール
だったぜ

そうだね
負けたと思わなければ
負けじゃない

そして

きみが勝ったと
思わなきゃ
価値がない

でないときみの
めだかちゃんに
対する

奴隷根性は
一生払拭
されないぜ

さあ
考えてみよう
人吉くん

めだかちゃんが
「負けた」と
思い

きみが「勝った」と
思える
シチュエって奴を

無論格闘でもいいが
知恵比べでもいいし
運否天賦でもいい

だけど目的を
見失っては
ならない

きみの目的はめだかちゃんを
痛めつけることでも
踏みつけることでもない——
めだかちゃんに勝つことだ

それを忘れたら
きみの素敵プランも
絵に描いた餅だぜ



考えるぞ！
どうすれば
めだかちゃんに
勝てるのか

俺は
何をすれば

あいつに
勝ったことに
なるのか——



私達の味方に
ついてくれて

でもよかったね
讀ちゃん！
候補生の五人が



でもじゃあ
どうするの？

集団戦法を取る上で
人数はどうしても
必要なんでしょう？

「その通り」
「だから考えは
あるよ」

「人数を
増やすための
考えはね」



…そこまで優しいと
冷たいのとあんまり
変わらないよ

讀ちゃん



「…そうだね」
「ただあの子達には
逃げ道も残して
おいてあげないとね」

「いざというときは
いつでも安心院さんの
ところへ帰れるように
しておいてあげないと」



なんとかって…
讀ちゃん

いったい何を
するつもり…？



「二人二人
監視しそうなのが
いるけれど」

「ていうか
簡単そうなんだけど
一人もいないけれど」

「全員じゃなきゃ
効果は薄いからね」
「なんとかするさ」

「箱庭学園」
はこにわがくえん

「委員会連合を
いのんかいれんごう
乗っ取る！」

「そのために
こうげんれいしよく
巧書令色
だま
騙くらかして」

「あの委員長と
エリートたち
お友達に
ともだち
なるつもりさ」



ダーツバーにて
くじ姉

注射器でや、たろ
意外と高得点。



俺は昔からずっと
めだかちゃんが好きで

いつまでもずっと
めだかちゃんのそばに
いたいんだけど

だい 第126箱
ひと

はた 箱
こころ

たいせつ

「人の心に大切なのは」

だけど思えば
めだかちゃんが
どんな気持ちで

俺のそばにいたのかを
考えたことはなかった

めだか
ボックス



俺はどうすれば
めだかちゃんに
勝てるのか

俺は

何をすれば
めだかちゃんに勝った
ことになるのか

正真正正
イメージしづらいが
やってみよう

俺が自身の勝手を
繰り出して

めだかちゃんに
ヒットしたとする

それが
俺のダメージを
与えたとして

めだかちゃんが
ダウンしてしまえば

うんまあ
俺の勝ちとは
言えるだろう





こう。

これ
嬉しいかあ？



.....

大体俺は別に
めだかちゃんに恨みが
あるわけじゃねーんだ

あいつを
黙つとばしたい
わけでも

まして
ボコボコにしたい
わけでもない

めだかちゃんの
そばにすることが
俺の目的で

俺の勝利条件だと
するならば

抱くべき
イメージは
そうじゃない



こうだ！

サッカーで試合後
ユニフォームを交換
するような

あるいはラグビーで
試合後にノーサイドだと
言うような

俺は戦いの結末として
そういう関係性を
望んでいる

……でもそれって
別に勝たなくても

引き分けでも
負けたあれば
いっそのこと負けでも
得られるものであって

勝ちじゃないし
価値もないんじゃないか？

そもそも憎悪にしても
知恵比べにしても
運否天運にしても
それに勝っただけじゃあ
めだかちゃんに勝ったなんて
言えない気がする

運命な話で勝とうと
俺がめだかちゃんみたいにな
る姿は運命な女の子に
なることはないし
俺の実家が突然
黒神グループになることもない

だからもし何かで
勝ったとしても所詮は
「勝った気になる」
程度のことなのだ

人生という長丁場の
レースであいつに
勝ったことには
ならない

俺はあいつに
認めて欲しい

そして
俺はあいつに
間違いを
認めて欲しい

ただ
正しい
間違いないんだと
思っている

人の心を
わかって欲しい

ただと俺がわからせる
までもなく

めだかちゃん自身
ちゃんとそれを自覚して
生きている気もする

だからこそ
めだかちゃんは
自分を否定する
球磨川や雲仙先輩

それに今の俺のような
己の抑止力を常時求める
それゆえに敵を好むのだ

正しい道を自分の
危うさをめだかちゃんは
嫌と重うほど知っている

だから
万が一以下の確率で
俺がめだかちゃんに
勝ったとしても

それはそれでめだかちゃんの
悪感通り——つまりは
めだかちゃんの勝ちってことだ
なるのだろうか

駄目だ……
いくら考えても
勝ち負けに
ならない

俺とめだかちゃんじゃ
立ち位置が
話にならないほど
違い過ぎる

まずは銘記しなければ
ならない

俺とめだかちゃんは
そもそも



俺はめだかちゃんの
わがままに随分
振り回されてきた
つもりでいたけれど

今から言えば
めだかちゃんに
とってはあんなの

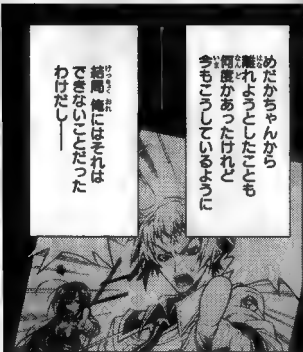
わがままでもなんでもない
普通のことだった
のかも知れない

だとしたら
わがまま
だったのは
めだかちゃん
じゃなくて
この俺だ

それくらい大規模に
距離が離れていたのだと

めだかちゃんから
離れようとしたことも
何度かあったけれど
今もこうしているように

結局俺にはそれは
できないことだった
わけだし――



…待てよ？
そもそも
なんで

俺は
めだかちゃんのそばに
いたいんだ？



いや
それはもちろん
めだかちゃんが
好きだからだ

だけど
それを言うなら
好きな奴なんて
他にもいっぱい
いるだろう？

一例をあげれば
ここに居る江迎忍江

競争戦のときは
色々あったけれど

今となつては
俺はこいつの個性が
かなり好きじゃねえか



それに生徒会執行部の
メンバー

阿久根先輩、雪界郎——
それに球磨川の奴にしたつて

三人とも敵として
出会ったとは言え

今の三人を
好きじゃないなんて
言えるものか

なのにどうして俺は
三人の反対を
押し切つてまで

めだかちゃんと戦うと
いう我を通そうと
しているんだ…？



麻倉先達
仙先達
都筑先輩

今でも和解したとは
言いがたい人達だが
俺はあの人達が
嫌いだったわけでも
憎かったわけでもない

むしろ怯むことなく
めだかちゃんと戦う彼らには
好感さえ持っていた

嫉妬にも似た
好感だけだな

その辺は
安心院さんの
言う通りなんだ

あの人達と
仲間になる未来だって
俺にはあったはずだ

だけどうして
それなのに

俺はあの人達を
敵に回して
めだかちゃんの
味方をしてきた…？

そう…
そうだな
たとえば

たとえば俺は
お母さんが好きだ

俺を生み
俺を育ててくれた
お母さんが大好きだ

心配性でうまいとか
思うこともあるけれど

俺はお母さんの
ためなら死ぬる

たぶん
死ねると
思う



だけど
それでももしも
お母さんとめだかちゃんが
戦うようなことがあれば

俺は逃うことなく
めだかちゃんの味方を
するのだろう



俺もお母さんに
勝った話じゃない

うだって俺は
他の誰のせいでも
めだかちゃんがピンチだと
俺は逃うことなく
駆けつけるに違いない

もっとも
そつうなことだけは
起こらないように

そこは安心院さんが
細心の注意を払って
いるのだろうか……



これではまるで
敵対すること
めだかちゃんを
守っているようだ

だとしても一体俺は
何をやっているんだ？

奴隷根性と言われても
まったく反論できないぜ

わからない——
どうして俺は
ここまでめだかちゃんに
こだわるんだ？

めだかちゃんに

だけ
こだわるんだ？

クニヤ

反戦を立てるとしたら
例の稀少価値って奴か

めだかちゃんみたいな
人間は他にいない
からな

かつてめだかちゃんが
人吉善吉を
「物珍しい」と思っ
ていたように

俺も黒神めだかが
「物珍しい」から
こだわって……いる？

いや違う……
たとえフラスコ計画で
めだかちゃんみたいな
特別な人間が大量生産
されたとしても

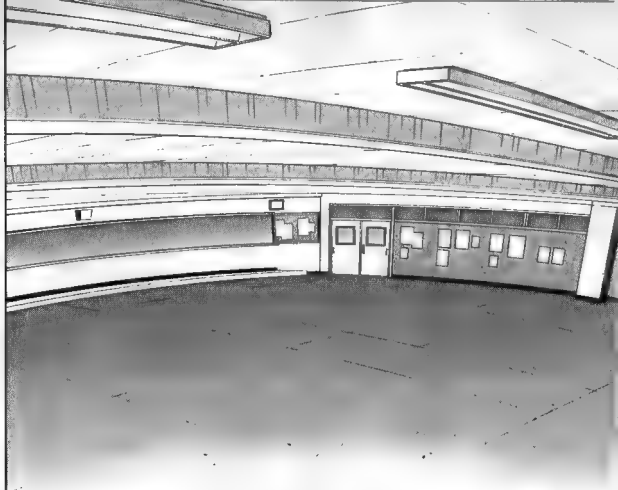
それでも俺は
めだかちゃんを選ぶに
決まっている

そういう
俺にとっただけの特別が
めだかちゃんにはあるんだ

だから俺は
めだかちゃんが好きで

いつまでも
ずっと一緒に
いたくて

誰よりも
愛おしくて——

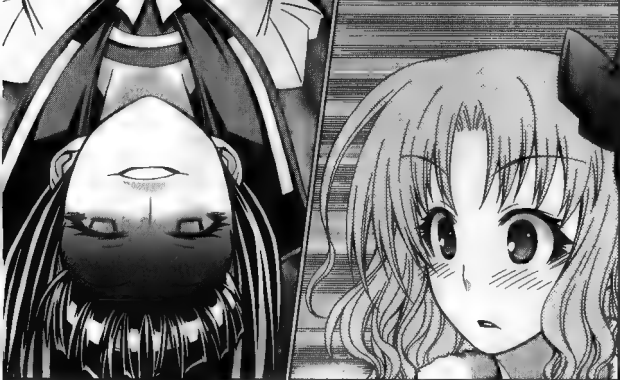


あ
そうか



俺

めだかちゃんと
付き合いたんだ



恥ずかしい恥ずかしい
恥ずかしい恥ずかしい
恥ずかしい恥ずかしい！

死ね！
俺死ね！
デビル死ね！

結局俺は
モテたいだけの
奴か！

恥ずかしい
恥ずかしい！

繁殖したい
だけの人類か！

女目当て！

ごちやごちや御託並べて
いちやいちやしたいだけ
だった！

ぐあああ
ああああ
あああ！

見^み当^あたら^らない
自^じ尊^{そん}心^{しん}！

下^{した}心^{こころ}満^{まん}載^{ざい}だ！
け^よだ^くも^ほの^うだ！
欲^{よく}望^{ぼう}の^け化^{しん}身^んだ！

正^{ただ}し^しさ^さと^とか^か志^しと^とか
そ^それ^れっ^っぽ^ぽい^いこ^こと
言^いっ^っと^とい^いて^てア^アホ^ホか！

格^{かく}好^{こう}悪^{わる}い！
志^しの^の欠^{かけ}片^らも^もない
下^げ衆^{しやう}野^や郎^{らう}だ！

今^{いま}ま^まで^で頑^{がん}張^ばっ^って^てた^たの^のは
全^{ぜん}部^ぶち^ちゅ^ゅつ^つち^ちゅ^ゅし^した^たり
お^おっ^っぱ^ぱい^い触^{さわ}っ^った^たり
す^する^るた^ため^めだ^だっ^った^たの^のか！

人^{ひと}の^の心^{こころ}を^を
わ^わか^かっ^って^て欲^ほしい^い？
わ^わか^かっ^って^て欲^ほしい^いの^のは
俺^{おれ}の^の心^{こころ}じ^じや^やね^ねえ^えか！

誰^{だれ}か^か俺^{おれ}を^を
今^{いま}す^すぐ^ぐ殺^{ころ}し^して^てく^くれ！

戦^{たたか}い^いが^が趣^{しゆ}味^みっ^って^てほう^{ほう}が
ま^まだ^だア^アリ^リだ！

恥^はず^ずか^かしい！

な^なん^んと^とい^いう
動^{どう}物^{ぶつ}的^{てき}本^{ほん}能^{のう}の^の塊^{かたまり}！
性^{せい}欲^{よく}の^の権^{けん}化^け！

恥^はず^ずか^かしい
恥^はず^ずか^かしい
恥^はず^ずか^かしい！

恥^はず^ずか^かしい
恥^はず^ずか^かしい
恥^はず^ずか^かしい
恥^はず^ずか^かしい

恥^はずかしく
ないっ!!





何^{なに}より!!

愛^{あい}だろ!!



真・フラスコ計画
真・フェイズ1

「自分の鬼神たちを
自覚しよう」
——完了——

強くなるために
必要なのはまず

強いモチベーション
だからねえ

くだらねー！
バトル漫画は
これでおしまい

来週から

くだらねー！
ラブコメが
始まるぜ

激動の日曜日は
こうして幕を閉じた

そして
翌月曜日

生徒会執行部の
内乱が
黒神めだかと
人吉善吉の対立が

箱庭学園の全校生徒に
知れ渡ることになる

終わりは

近い。

天井に張りつく
スキル
印
ギアア、アゲウン
逆転掌訴
㊦



は、きりい、て
使い道なし！

黒神めだかと
人吉善吉の
歴史的対立の緯は
またたく間に箱庭学園を
駆け巡った

箱庭生にとって
そのニュースは
それだけセンセーショナル
だったのだ——むろん

その反応は
聞く者次第で
様々である

驚いたり

戸惑ったり

本気に
しなかったり

一笑に
付したり

「くだらねえ」と
呟いたり

第127篇 「だからめだかちゃんには」

何を考えているか
わからなかったり

争いに
備えたり

公平に
構えたり

悲しんだり

しかし^{とう}当の
生徒会^{せいとくかい}執行部^{しやうぎんぶ}と
来たら^{きたら}拍子^{ひょうし}抜け
する^ぬほ^にどに

通常^{つうじょう}営業^{えいぎやう}で
あ^あっ^った^た—

だい
第127箱

「だからめだかちゃんには」

おーい
めだかちゃん！

今年^{ことね}度^どの^の体^{たい}育^{いく}祭^{さい}の
プ^プロ^ログ^ぐラ^らム^ム！

今日^{けふ}中^{ちゆう}に^に申^{しん}請^{せい}し^しな^なき^きや
だ^だか^から^ら
判^{はん}子^こく^くれ^れ判^{はん}子^こ—！



心なし階段よりも
すっきりしているような…
まるで悪き物が落ちたかのよう…

扉を開けてみれば
階段通りの人吉くん—
ううん



昨日あんなことが
あったから
どうなるかと冷や冷や
してたけど—



…よからう

ところで
善吉

貴様
私と戦うのは
やめたのか？



昨日は嫌しさのあまり
私から手を出して
しまったからな

今日は先手を懸けて
やろうとなつきから
待ち構えておるのだが

まさか
一度の負けで
諦めたのか？

ん？

ああそっか
—そうそう

そのこと
なんだけどな
めだかちゃん

ごめんっ！

昨日のことは
俺が全面的に
悪かった!!



昨日は
負け惜しみにしても
凄まじいことを
言っちゃった

お前が怒るのも
当たり前だ

それなのに俺は
自分のことを
悪く上げて

人格攻撃みたいなことを
言っちゃった

本当にごめん！

それに
みんなもごめん！

役員が候補生と
一致団結して
作り上げた
素晴らしい一日を

記念すべき第一回
オリエンテーションを
俺が台無しにしちまった！

特に
球磨川

いや

球磨川先輩には
謝っても
謝りきれません！

俺はあんたに
嫉妬してました

「……………」

そのせいで
意地になっていた
のは確かですが
だからと言って

あんたとの謝けを
負けた理由にする
なんて卑怯者の
することでした！

……もういい
頭を上げろ！
謝罪が長いと
パフォーマンスに
見えるぞ

つまり要するに
貴様は

私に勝つのを
諦めたのだな

いや

安心院さんも
酷なことをしますよ

だんしこうこうせい
男子高校生の
ラブコメを

己の策略の
部品にしようって
言うんだから――

ダッ

ダッ

ダッ

足が

軽い

まるで自分の
身体じゃない
ようだ

違いわ

ようやく
これが

自分の身体に
なったんだ

心と身体が
一致した

やりたいことと
やるべきことが
一致した

「欲求力」でも
見えなかった
自分の気持ち

今の俺には
よく見える――

なによ結局^{けつぎよく}
戦^{たたか}わないんじゃないんじゃん

どこの
引き延ばし^{ひきのばし}漫画^{まんが}だよ
オマエラ

!?





.....

ふうん

どうやら

迷いはないって
わけね

ああ—
かつてないほど
クリアな視界さ

それに

バトルをだらだら
引き延ばすつもりも
ねーよ



ただし現実問題
今の俺じやあ
めだかちゃんには
逆立ちしたって
勝てねーからな

阿久根先輩と決を
分かつたとは言っても
依然めだかちゃんが
抜きん出ていることに
変わりはないぜ

だからどうしても
タイミグは
見なきゃいけない



それに
球磨川先輩が率いる
裸エプロン同型が
目を光らせてる今

下手に動けないっ
てのが
本当のところだ

こうしている今だって
多分俺は候補生の連中に
見張られているんだから



来^{らい}年^{ねん}の
四^が月^つだ

来^{らい}年^{ねん}四^が月^つに^{おこ}行^なわ^るる
生^{せい}徒^と会^{かい}選^{せん}挙^{きょ}で
め^{おれ}だ^はか^ちゃ^んに^か勝^かつ^て
俺^{おれ}は

箱^{はこ}庭^に学^{がく}園^{えん}
百^{だい}代^{だい}目^めの
生^{せい}徒^と会^{かい}長^{ちやう}に^なる



夏休みにはマイナス十三歳と
繰り広げた戦役とした
「戦術」じゃねえ

真面目な生徒なら
誰でも参加できる
本物の選手だ

これ以上なく
公明正大な
ステージだぜ

全校生徒が
注目する
そのステージで

俺は
めだかちゃんに
勝つんだ

球磨川先輩の
卒業後だし
候補生の研修期間も
終わってるから

操エブロン同盟も
そうは邪魔できねー
だろうしな

……きみも安心院さんの
真っ似ってわけかな

球磨川さんの卒業を
待ってから決着と
いうのは確かに
いいタイミングだ

だけど選挙で
決着つてのは
どうなのかな？

人望や求心力で
彼女と競うなんて

中でも勝ち目の薄い
戦いを選んだ気がして
ならないんだけど？

いいんだよ——それこそ
クーデターを起こしての
「戦術」ならば
勝ち目はあるんだろうが

それじゃあ俺は
勝った気に
なれねーからな

俺れた弱みって
奴だよ

俺れた弱み？
そんなこと言ったら
何やつても勝てない
でしょ

俺れたら負けの
間違いないかい？

おうよ
惚^ほれたら負^まけだ



だから
めだかちゃんには
来年^{らいねん}

生徒会長^{せいとかいちやう}
人吉善吉^{ひとよしぜんきち}に
惚れてもらうんだ^ほ



惚れた女に
惚れられたとき

そのときこそ
胸を撃つて
貰えるんだ

俺はめだかちゃんに
勝ったんだって

俺は
めだかちゃんを
俺とおんなじくらい

幸せにして
やったんだぞって
貰えるんだ

女に惚れられるために
生徒会長になろう
なんて

身分と不純な
動機じゃないか

馬鹿言え

恋愛以上に
純粋な動機なんて
あるもんかよ

もちろん幸せに
なりたい奴がいるなら
誰であろうと

幸せにしてやるぜー
なんなら
お前も含めてな

バーミー



できればそこに
僕も含めて
おくれよ

人きくん

!?



安心院さん…

僕がバトル漫画から
ラブコメへのスライドを
謀ったのは

それがダメ主人公でも
勝ちやすいジャンルだから
でもあったんだが

きみにとって恋愛感情は
悪いのほかに強い
モチベーションになった
ようだね



江迎が発破
かけてくれた
お陰だよ

あいつが僕を
叱り飛ばして
くれてなきや

僕は今でも
夢の中で頭を抱えて
ただらうぜ

そうかも
しれないね

だけど一番
男気に満ちた決闘を
選んだのは
きみ自身だよ

僕はその心意気に
感心を超えて感動さえ
憶えるぜ

ただしそれでも
来年の四月^{しがつ}つてのは
さすがに先過ぎかな？

めだかちゃんの卒業を
待とうとした
僕^{ぼく}が言うのもなんだが

それはちよつと
気が長過ぎるぜ

せっかく
ゴールまでの道筋^{みちすじ}が
見えたんだ

そこはベース上げて
いこうよ人吉^{ひとよし}くん

半端^{はんぱん}に作らせた
スキルのことも
あるんだしさ

いいやでも
そこはベースの
上げようがないだろ
安心院^{あんしんいん}さん

球磨川^{くまがわ}先輩の
卒業^{そつぎょう}のことは
さておくにしても

選挙^{せんきょ}の日取りは
校則^{けうそく}で決まってる
だからよ

だったら
そんな校則^{けうそく}
変えちまおうぜ

そこは僕^{ぼく}に
任せてくれ
半端^{はんぱん}ちゃん
とタッグを組んで
なんとかするよ

十巻^{じゅうまい}以上^{じょうじゅう}続く
ヨミツクスは情性^{だせいせい}

つてのがそれに
僕の持論^{じろん}でね

既^{すで}にそれを五冊^{ごさつ}も
オーバーしてやる

だから
見てな

アニメが
始まる前に

僕がこの漫画を
終わらせてあげるぜ



阿久根書記↓高貴
球磨川↓球磨川先輩



私の呼称名だけ
微動だにしない……!!

…まあ文庫は
これでいいわ
と思いますよ

楠高学園公職選挙法改正案

1-① 現行法の問題点

(1/32)

はい
第128箱

「正義と違って必ずしも」

生徒会選挙の期日を
四月から十二月に
前倒しするだけのこと
を
言うのに

いささかペーパーを
使い過ぎて気持ち
しますけれど…

はっはっは
それは仕方ないさ

それは高校生の
子供達じゃなくて
理事会のお偉い
大人達に提出する
ものだからねえ

大人はわかりやすく
言っても納得して
くれないのさ

複雑に！
できる限り
難しく言って
差し上げないとねえ

なるほど
そりゃそうだ

まぐ

まぐ

しっかりと安心院さん
実際のところ
どうなんです？

選挙で勝負
するなら
人吉はお嬢様
に勝てるんですか？

勝てるさ

なぜなら
選挙とは

能力ではなく
勢力を競う
勝負だからだ

むろん
簡単では
ないがね

しかし
選挙と言うから
堅苦しいが

それを
人気投票だと
想像してもらうと
わかりやすい

実際
週刊少年ジャンプでも
よくあるだろう？

主人公をさしおいて
パイプレイヤーが

もし

.....

もし

人気投票のトップを
獲ってしまうような
現象が

たとえばこの世界が
漫画できみ達が
登場人物だったとして

キヤラクター
人気投票を
開催したとしたら

素外球磨川くん
あたりが第一位を
取っちゃうんじゃないのかな...

アンダードック効果
って奴ですか☆

にやり

そうだね
アンダードッグ
効果

アンダードッグ効果

日本版でいう「判官風展」。
形勢の悪い方を応援したくなる、
同情心や感情移入に由来
する大衆心理。

「アンダードッグ」=「負け犬」。
選挙においては「不利である」
事実がかえって当選の
要因になること。

まるで球磨川くんの
ためにあるような
言葉だが

無能がゆえに熱い
支持を受けるって展開が
選挙ではあり得るんだ

そして
そんな勝利でも
勝ちつてことには
違いがない

選挙なんざ
所詮統計に
過ぎないけど

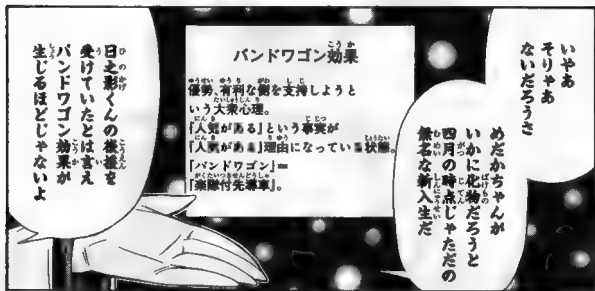
成熟した
民主主義社会では
その多数決こそが
すべてなのさ

まーそんなこと
言い出したら
民主主義という
その政治形態自体が
弱者優遇なんだけどね

弱き凡人が徒党を組んで
強者固有の意見を
押し潰す

人類総凡人化計画
つーか！
まるで逆・プラスコ計画だぞ

ホス



めだかちゃん
の支持率の高さは

選挙における
投票率の低さに
裏打ちされていた

選挙が四月じや
入学したての一年生が
興味を持てるはずも
ないからな

大半の新入生は
終わってから選挙が
あったことを知ったんじや
ないかな？

二三年生だって
興味が無い奴は
興味がないだろうし

百名以上いる
十三組の生徒に至っては
言わずもがなだ

……しかも先代の
生徒会長が
日の影先輩でしたからね

ここしばらく
生徒会選挙が
有名無実化していた
というのは
あるかもしれません

ああー調べてみれば
今年の選挙の
投票率は50%

これだって
今時の選挙とすれば
大した数字なんだが

そんな素直な態度で調査に
含めればめだかちゃんの
支持率は50%を超える98%
で49%

実は過半数にも
達していないのさ

投票に参加する
生徒の意識の高さを
考えると
めだかちゃんに票が
偏りやすいのも
頷けるだろう？

めだかちゃんの支持層が
一番多いのは何気に
十組から十二組の
特待生のクラスだしねえ

…そうですね
スペシャルあたりが
一番いい距離感なのかも
しれません

黒神めだかは
普通科の生徒に
とっては遠過ぎて
びんと来ないし

十三組の生徒に
とっては近過ぎて
同族嫌悪ですし

マイナス十三組に至っては
対価過ぎて敵視の
対象でしょうからねえ

つまり極論
普通科十三組・
マイナス十三組あたりの
浮動票を完全に押さえれば
めだかちゃんに勝つことは
満更不可能でもない

勝ち目の薄い
戦いであることに
違いはないが

しかしこれは人吉くんが
めだかちゃんに唯一勝てる
ステージかもしれないんだぞ

……だけと現実的には
その「浮動票を
完全に押さえる」一つのが
不可能でしょうよ

たとえ投票率が
百パーセントだった
ところで

あたしはそれでも
お連中は98%の
支持率を得ていたと
思いますけどね……

僕はそうは
思わない

どころか49%という
支持率にも

更にからくりがあると
思っているぜ

そう——
めだかちゃんに
票を投じた生徒の
中にはきつと

「人吉くんが彼女の選挙活動を手伝っていたから」という理由で
投票した奴もいたはずなのさ

しらぬい
不知火ちゃん

きみの
ようにね

にや

なにに
言っただか
わかりません





ま
でもいいですよ

無理矢理ケチを
つけてみたものの
あたしもこれしか
ないとは思います

この書類はあたしが
責任を持って
お姉ちゃんに
渡しておきますよ

それで
いいんですよね？

タ



ああー
僕が渡すよりも
きみが渡したほうが
通りやすいだろう

なにぶん僕は
学園の創設者
だからね

その権限を笠に着て
現在の教育方針に
うるさく口を出していると思
われたらたまんねーぜ

それよりもきみは
これでいいのかい？

不知火ちゃん



この戦いは
人吉くんの恋を
成就させるための
戦いとなった

ならば
人吉くんのことを
悪しからず思っている
きみにとって

手伝える動機は
既にないとも
言えるんだが……

……

あひやひや!

なんのうはん
何光年も
生きてる
割に

あんがい
素外わかつて
ないんですねえ
安心院さん!

れんあい
恋愛がめず成就
するべきだなんて

そんな風に
思ってるんなら
この先言職しますよ

しつせん
失敗だつて
恋のつちだつて

んなこた女子なら
小学生の頃から
知ってるつてのに

えんせ
江迎ちゃんも
そんなことを
言っていたな

しかし
きみ達は本当に
それでいいのかい?

僕ならハーレムエンドを
作ってやることも
可能なんだぜ?

だから
いいんですって

正義と違つて
必ずしも

愛^{あい}は

勝^かたなくても
いい。







「こんにちは。」

箱庭学園
役員会集合…

改めて向き合おうと
さすがに圧巻…

ていうか…
この人達を二階所に
集めただけでも
すごいんだよね

あのオリエンテーションは、
黒神さんだからこそ
実現できたイベントだと
思ってたけど…



ただし禰ちゃんがかつて起こしたクーデターを思えば
当たり前だけど

日曜日と違って
すっごく険悪な
雰囲気だね

禰ちゃん本当に
太丈夫なの…?



機嫌はおしまいですか？
だったらなつきと
始めてくださいな♡

連合も暇じゃ
ないのでね♡

私達に
何かご用ですか
球磨川先輩？

「ご用というか…
きみ達にお願いが
あるんだよ」

「僕に対する謝罪を
一旦忘れて
聞いて欲しい」

「きみ達
学園の未来の
ために」



「死^しんでくれない
かな？」





「きみ達エリートを亡き者にすればその後残った委員会運営を乗っ取るのもそう難しくはないと思うからさ」

「って」

「もう聞こえないか!」

「だけど安心して!」

「きみ達の意志を受け継いで『精英学園の未来は僕達を守るから!!』」

「いいや聞こえてるよ」

鎌倉川

先輩

「だけど生憎オレ達が守りたいのは」

「未来じゃなくて日常だ。」

!!

あらかじめ教室に「氷」を張り巡らせての自動防御……

球磨川せんばいの「弱点を突く」攻撃にこんな防御法があったなんて……

黒神さんと戦った時の黒仙先輩だ……

他の委員長も「まったく物怖じしていない……」

ケケケケ！ 両手が何度でも適用すると思っくんじゃねーぞボケ！

なんにせよこれで交渉決裂だなあ！

デメーこそ死んでくれよ球磨川先輩！

安心して死んでくれ！！

遺志も残さず死んでくれ！！



「もちろん
わかつているさ」
「僕はきみ達に何の得も
ない提案を
したりしない」

「ちゃんと
メリットを
提示する」

「そして僕に對する嫌悪を
忘れられないと言うのなら」
「それを発散するためには
勝負の場を設けることは
否かでもないよ」

「赤さん！
「トランプ
持つてるよね？」

「持つてますけど……
何ですか？」

勝負つて

まさかまた
ペイマン・マランリイ
完全神経衰弱を
するつもりですか？

「いいや違う」
「これから行うのは
7対7の団体戦」

「赤黒七並べ！」

赤い奴

なんで当たり前みたいに
トランプ持ってるんだ……？

普段からトランプを
持ち歩いてるのかしら……？

んば、



「赤黒七並べ！」

「これから行うのは
7対7の団体戦」

第129篇 「ゆゑにこのゲーム間違いない」

赤黒七並べ……？
ふざけてんじや
ねーぞ赤黒川ア

デマーあてーな
調整くせー奴が
仕掛け人の
ギャンスル

ホイホイ
乗つかれる奴
ねーだろーが！

「きみならそう言っ
てくれると信じていたよ
雲仙くん」

「だけど
心配しないで」

「僕もこのゲームのルールに
ついてはつきさつき
聞いたばかりなんだから」

「ルールの考案者は
そこにいる長者殿くん
誰よりも公平な男
長者殿殿くんだ」

「それならばきみ達
委員会連合としても
文句はないだろう？」

!?

はあ……ええ
今朝、球磨川さまに
両者が公平に戦える
ゲームはないかと
訊ねられましたので

しれ、

判断で
不肖わたくしめが
提案させて
いただきました

余計な真似を……!

「と言うわけで
話くらいは聞いてよ
雲仙くん」

「委員会連合としても
どうせ本当は今回の争いを」
「黙って静観してる
つもりなんか
ないんだろう?」

……
確かにな

勝負を受けて
俺達にどんな
メリットがあるのか
知らねーが

まールールくらいは
聞いてやるよ——
ほざいてみな

「さすがめだかちゃんの
最大のライバル
雲仙くんだね
ありがとう!」

「きみなら
そう言ってくれと
以下略!」

「じゃあ遠慮なく
ゲームのルールを
説明させてもらうよ!」



「名前でわかると思うけど①基本的には七並べだよ」

「テーブルの上にこんな風に7のカードを4枚並べて」

「左右に数の揃がるカードを置いていく」

「パパ抜き次くらいにはボビュラーなゲームだよな」



「通常の七並べとの違いは」

「②数が揃がつていればマークを無視できること」



「つまりたとえばこうやって」

「♡の7の隣に♠の8を置くことができる」



「そして③♡と◇を「赤」♠と♣を「黒」と定めて」

「同色のカードで異色のカードをタテ・ヨコ・ナメに挟んだ場合」

「挟まれたカードの色が反転する」

「大きな違いはこの二点だけだよ」「わかったかな?」



……七並べを
ベースにした
オセロってわけね

ゆえに
ブラックアイセブン
赤黒七並べ……

「その通り」
④♡と◇を使う
赤チームと
♣と♠を使う
黒チームに分かれて」

「カードを出し合い——
最終的に
陣地が多いほうが
勝ちってゲームなのさ」

「もちろん通常のオセロ
とも違いはある」
「ベースはあくまで
七並べだから」

「オセロと違って
⑤数字が繋がっていれば
異色を挟まない位置
にもカードを置ける」

「逆に言うところ
⑥異色を挟めると
しても」

「数字が繋がって
いなければその位置には
おけない」



「ちなみにこの赤黒七並べでは
⑦カードを使い切ることは
勝利条件ではない」

「個人戦ではなく
あくまで団体戦だ」

「あそれと」
⑧ジョーカーはなし」

「ジョーカーの使用
ほどゲームを白けさせ
るものはないからね」

「とりあえず
こんなとこだけと」

「ここまでは
どうかな？」

「エリートの
みなさん？」





.....

……まあ……まではいいよ

面白そうでもあるしな

ただ7対7の団体戦なんだろう？



トランプ1デッキ52枚から7の4枚を引いて48枚

その48枚を14人に均等に配ったら一人頭3〜4枚だけ？

その上、赤チームには赤カード、黒チームには黒カードしか配られないとなると

七並べってゲームの性格上パスの連続になっちゃうんじゃないのか？



「そうだね」「そもそもこのゲーム」

「3対3でやるのが丁度いいらしいんだ」

「7対7というのは制限人数を倍以上オーバーしているよ」

「だから今回は特別に⑨トランプを1デッキではなく2デッキ使用し」

「48×2の96枚を配ることにする。」

「それだと一人頭
6〜7枚
になりますから」

問題は解決します
けれど今度は

カードのダブリが
相当数
発生しますよね

「そうだねだから
⑩番に4枚出揃った
数字は死ねとして」

「その時点で手札から
捨てる」
「というルールも
追加される」

「その代わり
⑪パスは禁止！」

「⑫カードを
出せなかった
プレイヤーは
その時点で失格だ」

「⑬失格者の手札も
当然廃棄」
「⑭チームメンバー全員が
失格した場合は
その時点で相手チームの
勝ちとする」

「もちろんゲームが
始まれば⑮勝方
両士の相対は禁止」

パス一回で失格に
なるっていうんじゃあ
極端に先攻側が
不利になりますね

先攻後攻
それにチーム内の手番は
どう決めるんです？

「プレイ中
見えるのは
場と自分の
カードのみだぜ」

「それについては
考えがあるよ」
「長者殿くん！」

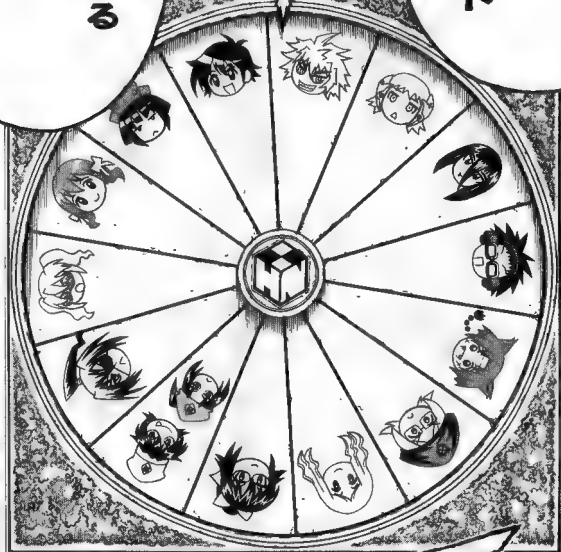
ガラガラ

はい
球磨川さま

こちらに用意が
整ってございます

赤黒^{ブラッディ}
ルーレット

運命^{うんめい}を決^けする
羅針盤^{らしんばん}で
ございます



この赤黒七並べは
⑮——いえ⑯ですか……
⑯ルーレットに示された
プレイヤーがカードを
出すのです

つまり手番は
チームも席順も
先攻も後攻も
関係ありません

七回連続手番に
なることもあれば
ならないことも
あります

当然ルーレットを回す
役目はわたくしめが
務めさせていただきます

公平な結果を
約束致しますので
ご心配なく

……手順をランダムに
するのはスマートだね

チーム同士
プレイヤー同士の条件が
イーブンになるし

そして場の異常な
偏りを防ぐためには

ダイラーを
長者原くん任すのは
確かに当然でしょ

けどそれって
球磨川せんばい

こちらに一方的に
公平を強いて
いませんか？

あなたあの「大逆無道」を
取り戻しているんでしょ？

あのスキルを使って
イカサマをしない

という確率が
ない以上
そんな勝負には
乗れませんね！

心配せんで
えーでー

球磨川くんの
に
隠らずイカサマは

ウチがばつちし
見張つといたる
さかい♪



早佐呼ばわり
されたくは
ないよなあ……

確かにまあ……
この人だけに

鍋島さまは
ゲストとして
お呼びいたしました
赤さと球磨川さまの
イカサマ合戦の件は
聞き及んでおりました
ので

イカサマに関する
抑止力は必要かと
愚考致しましたゆえに

ちなみに場のカードを
赤黒と入れ替え続けるのは
わずらわしくございますので
こういったランプを用意
させて頂きました

●の裏が♡
●の裏が◇

というダブルフェイスの
トリックカードで
ございます

プレイヤーが提出した
カードによって場に変化が
生じた場合わたくしめが
このカードで以降の
結果を反映させます

つまり場のカードに
触れるのは
わたくしめだけ

微力ながらこれもイカサマの
抑止力になりましょう

ただし
ギャンブルである以上
賭け金のク力を
はつきりさせて
おきたいな

球磨川先輩

あなたはこの勝負に
何を賭ける？

……イカサマ抜きなら
問題ないルールだ

少なくとも
この程度の
ゲームに

尻尾を巻くような
私ではない

我々が負けたら
委員会連合は
輝エブロン同盟の
軍門に下るとしよう

では我々が勝ったら
あなたがたは何を
してくれるのだ？

学園の日常を
守るにあたって

我々がこの勝負を
受けることにどんな
メリットがある？

「デミーに対する
嫌悪を発散できる」

つてのは確かに
悪かねーが……
俺達の立場はそういう
個人的感情とは別にある

デミーと組むのは
組織として
リスキーなんだよ

それでも俺達を
勝負のテーブルに
乗せたいのなら

それ以上のものを
賭けてもらわ
ねーとな

「……」

雷つとくが得意の
輝エブロンつてのは
なしだぜ！

んなもんオレは
風紀委員会だ

死ぬほど
見飽きてん
だからよ！！

『全部
賭ける。』

『標エフロン同盟の
抱える人材——
人財』

『その「すべて」を
賭ける』

「マイナス十三組の
リーダーにして生徒会
執行部副会長」

「競技部のエース
にして
生徒会執行部会計」

「そして安心院なじみの
増末にして生徒会執行部の
未来を担う候補生五人！」

「貴道が負けたら
この七人が
委員会連合の
軍門に下るよ」

「備用係としてでも
下働きとしてでも
使ってくれ」

ウィナーティークオール方式
つまり賭け金を揃えてきた
ってわけか……確かに

生徒会執行部の財布の紐を
握る雪界島さんを連合に
引き入れられるのは魅力的よね……

大半の委員会とは
人材不足が否めないから
その意味じゃ

黒神ちゃんの後継者候補を
手元に置けるのはありがたい……

委員会連合の雄意としては
標エフロン同盟みたいな
怪しげなグループは
潰しておきたいわけだし

割のいいギャンブルだわ
けど……



え~~~~~
なんで~~~~~?

私は好きだよ
球磨川先輩

職員会連合を
乗っ取ったなんて
いい度胸じゃん

こういつ
肉ごう男尊女卑論！
私達は半ぶところ
あると思っただよ

「喜界島さん
喜界島さん」

「大刀美さんだけは
普通に加害に
なつてもいいんじや
ないかな」

美ちゃん
あつさり電撃
されなさい

あれは
美ちゃんの悪いお
エリートのお情
だよ！

……じやあ私は
与次郎さんを
もらうわ

一度 辛酸なめさせ
られてる都合上ね

私は 劇場ちゃん

彼女の格闘技術には
目を見張るものがある

希望が丘

あいつは
おいしい

財部ちゃん
かな

敵えてあげたい
こともあるし

う私は無難に
喜々津ちゃん

昨日のイベントの
MVPだもんね

オレントコは
人材にや不自由
してねーし

当然
喜界島もがな
一択だ

ギャンブルオン
勝負成立!

委員会連合
VS
裸エプロン

裸エプロン
同盟!!





ブラックアイ

赤黒
ルーレット…

スクリユード
回転!!



希望が丘ちゃんと
運野ちゃんの手札が6枚



その他のみんなは、
手札7枚からスタート…
まあこのルールやと色々な人の
手札の枚数はそんなに関係ないけどな

そしてウチが聞いた限り—
「赤黒七並べ」のルールには
かけるような裏はない

七並べやオセロを
ベースにとるだけあって
必勝法のないゲームやわ



ただし満更運任せ

「運のいいほうが勝つ」
つまりゲームでも
あらへん

ルールの裏を
かくことは
できなくとも

人間の裏をかく
ことはできる!!



ゆえにこのゲーム
間違^{まちが}いなく

性格^{せいかく}の悪い^{わる}
ほう^{ほう}が勝^かつ!!



出^でました!

羅針盤^{らしんばん}に
示^しされたのは



チームブラック
喜界島^{きかいじま}もがな
さま!

初手^{しよて}カードを
お願^{ねが}いします!!



赤の奴

トランプをアキ持てたぞ!?

完全神経衰弱を

やるつもりだったのは

あの子のほうじゃないの!?

んばば、





ルールに
通ばれしは
喜界島さま！

それでは！
喜界島七並べ

初手カードを
お願いしたく
ございます！

第130箱 「楽しんで欲しいじゃん」



喜界島せんばい
表ついちやうてください！

私らどう思えても
なめられてますからね



まお手並見つけてごう

オリエンテーションじゃあ私は
この子とは始めなかつたからね



標エブロン同設立の
立役者って
何処にこの子なのよね

喜界島もがな...
どうしても球磨川先輩に
目が行くけど



この「喜界島七並べ」は
初手をどこに置くかで
あっさり展開変わってくるぞ
どないするかな喜界島ちゃん？

喜界島の構成上通常の
オセロやったら初手は
どこに置いてもおんなじやねんけど

出せるカード
ないやつ!

ごめんっ!

ブラッディセブン
赤黒七並べ

- ①7を場に4枚並べて、左右に数の繋がるカードを出し合うゲーム。
- ②数が繋がっていればマークは無視できる。
- ③♡と◇を「赤」、◆と♠を「黒」とし、同色のカードで異色のカードを（タテ・ヨコ・ナナメに）挟んだ場合、挟まれたカードの色が反転する。
- ④♡と◇を使う赤チームと◆と♠を使う黒チームとの勝負。最終的に陣地の多いチームの勝ち。
- ⑤数字が繋がっていれば異色を挟まない位置にもカードを置ける。
- ⑥異色を挟めるとしても数字が繋がらない位置にはカードは置けない。
- ⑦カードを使い切ることは勝利条件ではない。
- ⑧ジョーカーは使用しない。
- ⑨トランプを2デッキ使用。48×2の96枚（赤チームには赤カード48枚、黒チームには黒カード48枚）を配る。
- ⑩場に4枚出揃った数字は、その時点で手札から捨てる。
- ⑪パスは禁止。
- ⑫カードが出せなくなった時点で失格。
- ⑬失格者の手札は廃棄。
- ⑭チームメンバー全員が失格した場合、その時点で相手チームの勝ちとする。
- ⑮味方同士でもプレイヤーの相談は禁止。
- ⑯ルーレットで示されたプレイヤーがカードを出す。連続で出すこともありうる。

それでは喜界島さまは
ルールに従い失格

今後
喜界島さまの目が
出たときはルーレットを
仕切り直すことと致します

まあ七並べやからな
配られた手札次第では
こういうこともあるやろ

ただしこんなあくまで
レアケースやけどな

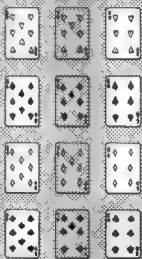
少なくとも序盤で
カードが出せへんゆー
展開は珍しいはず

やつて

チームメイトの手札を合わせたら
全48枚が揃うんやもん

この初手にしても
出せるカードが
チーム内に8枚あつて
(6が4枚8が4枚)

メンバーが七人やから
一人1枚以上割り当たる計算やん



今回は喜界島ちゃんが
特別運が恵かっただけで

ほったとえば
球磨川くんやつて



「これでいい。」

「僕はずっと」

「こんな手札で戦ってきた。」



「運にも偶然にも車まれず」

「時勢にも運命にも頼らずに戦ってきた」

「そんなの」

「配られた牌に負けたって？」

「いつも通りだろ！」



.....

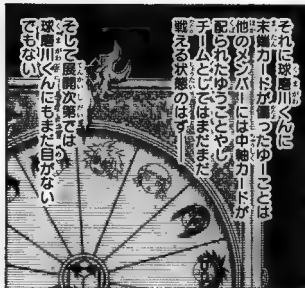
「そうやな...委員長連合を相手取るんや」

「逆境ごときにいちいち挫けてられへんか...」



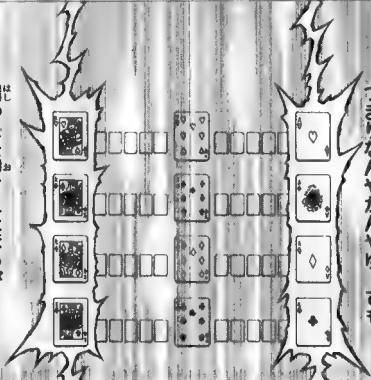
「それに球磨川くんにも未進カードがなかったゆーことは他のメジバーには中軸カードが配られたゆうことやしチームとじではまだまだ戦える状態のはず」

「そして展開次第では球磨川くんにもまだ自がないでもない」



なぜなら赤黒七並べは
七並べをベースとしつつも
つまりなんやかんやゆーても
決着はオセロ——

端っこを押さえたほうが
有利なのは明白！



ほやからルーレットが
最後まで
球磨川くんを介さんで



そこで最後の最後から
連続で手番が回ってくるような
そんな運の備りがあれば……

……ただ長者原くんが
ディーラーをやつとる以上

そんな異常な備りには
期待できへんけどな……



そう

ディーラー長者原融達の
異常性は「公平」

……
出ました！

次なる手番は
貴族さまで
ございます！

彼が仕切る以上
この場で起こる現象が
通常の運を支配する
ことはない

だから
チームレッドの
引率者

雲仙真利の
こんな手札も



あくまで
通常の確率通り
なのである。



いつもなら
全部♡で勝るんだがな

ま融通の勝じゃあ
こんなもんだろ



さすがとしか言えない！
たとえ手番が七回連続で
回つてきても失格じゃない
完璧な手札

これで少なくともチームレッドの
全失格による敗北は
避けのいた

んじゃ
このカードだ
融通

◇の8を
1段目に出すぜ



「1」～「6」まで全部
持つてるからなんとなく
「6」から出しちゃいそうだけど

それは「9」以降のカードは
すべて他の人に配られてるって
意味だからまずは「8」を出して
チームへのアシスト

雲仙先輩ちゃんとチームプレイ
とかできるんだ……

そしてもちろん
勝ちにいつてる

◇のカードだからって安易に
◇の段に置いたりしない

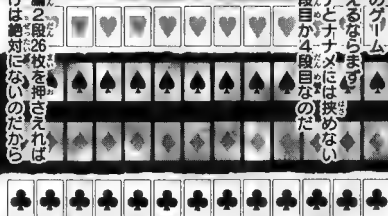


このゲーム
揃えるならまず
夕テとオナメには決めない
1段目が4段目なのだ

極端2段26枚を押さえれば
負けは絶対にないのだから

そしてあの牌だと黒に
按まれやすくなるから
まずは♡の牌

あえて3段目から挑み
混戦を狙う手もあっただろうが...



標エフロン同盟相手に
奇策を使うのは
プライドが許さないかな?

まもちろんう私も
同意見だけどね

オッケー雲仙くん♡

んじやまずは
1段目を揃えるつて戦略で♡

出ました!
次なる手番は

チームブラック
財部さまです!

え...
あつはい!

私ですわ!

じゃ...じゃあ私は
♠の9を

半下のクセに
拳そなガキ

雲仙先輩の出した
◇の8の牌に勝ります...

ん、

そして次なる手番は
与次郎次業

魔法世界の
みんな……

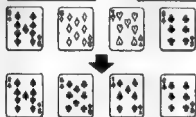
力を
貸して！

彼女（おなじ）は手札に
♠の6を
持っていたので

当然（当然）それを
♡の7の隣に置く

それにより初めて
カードの色が反転する

♡の7は♠の7に！
◇の8は♠の8に！



ちつ……
先にやられち
まったね

けどまあ
すぐにまた
裏返してみせるさ

熟（う）れたイチジクの
中身（うちみ）みてーに！
場（ば）を真（ま）つ赤（あか）に
染（ぞ）めてあげるよ！

うふふふ

できる
ものなら！

そこからようやく
ゲームは動き出した

ルーレットの目玉に
翻弄（はんろう）され

ブラック
赤と黒に

カードの表裏に
一喜一憂する
ブラックとレッドの
赤黒七並べの醍醐味（だいごみ）が
始まったのだ

……始まったのだ――

ちゅーかこれ
勝負（しやうぶ）つちゅうより
なんかな……







「だってこれから一緒に
がんばる仲間なんだぜ」

「だったら
やっぱり」

「楽しんで欲しい
じゃん。」



うーむ
しまった...

気がつけば
うっかり熱中
してしまっていた...

ケツ...
なんとなく
わかってきたぜ

こいつらこうやって
オレ達とゲームをすること
自体が目的なんだな...



鬼神と人吉との戦いを
止めたいのなら
オレ達との連携が不可欠

だが生徒会と
委員会連合は関係上
その連携って奴が
取りづらい

だからこの
これは親睦会なんだ



そう考えると
界島のいきなりの
失格は出来過ぎだぜ

あれは本当は
出せるカードがあるのに

あえてヒエロを演じることで
オレ達の緊張を緩和
したかったんじゃないあ？

となるとこの子達は勝ちじゃなくて
引き分けを狙っているのかも

いやその狙いに
気付いちゃった以上

こっちが勝つても
操エブロン同盟を解体・吸収なんて
大人気ない真似はできないよね……



……おい
輝磨川ア

先に
聞いといてやるよ

もしもオレ達が
協力してやると
して――

テーマはオレ達に
例をして欲しい
んだ？

「……もちろん色々
やってもらうつもり
だよ」

「きみ達にこれさえ
やってもらえれば」

「つて名義が
僕にはあるんだ」

「えっとね」

『委員会連合の

才媛達さいえんたちが

パンツ丸出しで

廊下ろうかを歩いてたら』



『あの二人も
バトルとか
どうでもよくなる
と思^{おも}うんだよね』



こえ
を
そろ
え
て
声
を
揃
え
て

アホか
お前
!!

あんなに
パンツ丸出し
じゃあ、
どうでもよくなる
かも……

あなた
は、
パンツ丸出し
じゃあ、
どうでもよくなる
かも……

それでは19手目の
ルーレットを回します

よろしいですか
皆さん？

よろしいわけ
ないでしょ！？

あなたもあなたで
つつがなく進行してんじや
ないわよ！！

駄目だ...やっぱりこいつと
手を組むのだけはありえねえ...

つかこいつ
黒神と大吉のバトルにかこつけて
再び学園支配に乗り出したとしたか
思えねえぜ

箱庭学園の脅威は
依然球磨川だ！

裸エブロン同盟は
ここでオレ達が解体する！！

「チメーら
担ぐ神輿を
間違えたんじや
ねーのか？」

この分じや
チメーらも
何させられるか
わかんねーぜ

「愚問ですな
雲仙殿」

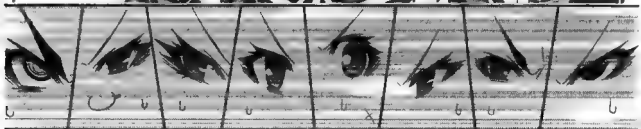
私達は
裸エブロンにまでなら
なる覚悟はありますよ

ゆえの
裸エブロン同盟
でして...

わたしたち
私達こそ
逆に問いたい

パンツを見せる
覚悟もなく

あなたがたは
人の上に
立っているのかと



ですよーねー。

……って
いやいやノ

あるわけねーだろ
そんな覚悟 //



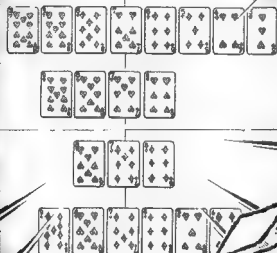
個人の残りカードは

チームレッド

大洗 雲仙 十二町 赤無 上無 飯塚 通野
 4 4 6 6 5 4 6
 枚 枚 枚 枚 枚 枚 枚

チームブラック

球磨 喜界 喜々 喜々 喜々 喜々 喜々
 5 5 3 4 6 0 7
 枚 枚 枚 枚 枚 枚 枚



なお18手終了現在の
 場はこんな感じー
 飯塚の予告通り
 一面赤に染まってるが

当然これで
 決着ではなく
 勝負は続く

ゲームが
 中盤戦を迎えた
 ここからは次々と
 プレイヤーが
 脱落していく

しかし当然

- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1 喜界島 | 失格 | 10 喜々津 | ◆8 (2) |
| 2 雲仙 | ◇8 (1) | 11 通野 | ◆6 (4) |
| 3 財部 | ◆9 (1) | 12 大刀洗 | ♥8 (3) |
| 4 与次郎 | ◆6 (1) | 13 財部 | ◆5 (4) |
| 5 飯塚 | ♥8 (4) | 14 十二町 | ♥9 (2) |
| 6 飯塚 | ◇9 (4) | 15 上無津呂 | ♥6 (2) |
| 7 赤 | ♥10 (1) | 16 雲仙 | ♥3 (1) |
| 8 希望が丘 | ◆5 (1) | 17 十二町 | ◇6 (3) |
| 9 財部 | ◆4 (1) | 18 飯塚 | ◇4 (4) |

現状
 喜界島以外の
 失格者はいない
 けれど

※()内は股数

「パンツは
 僕が」

「大丈夫だよ」

「可愛いのを
 選んで
 あげるから」

むろん
 脱落の筆頭候補は
 変わらずこの男ー

ちなみけ

調理人・飯塚食人の

リアクション

うん？別に
いいじゃねーか
パンリくらい



上無津呂よりも
ある意味

野生児。

自然界の動物は
そんなもん
はいそねーぞ？



だい はこ わな は
第131箱 「罾を張ればいい」

めだか
ボックス

ブラック・アイ・レブン
赤黒七並べ
19手目

チームブラック
財部依真

……
ありません

財部
リタイアです

チームブラック二人目の
失格者か……

世界最大のカードゲーム
あちらのカードは
相当偏ってるみたいだね……

20手目。
チームレッド
上無津呂が
♡の9を3段目に

1段目を横に広げつつ
縦列も順調に
埋めていく

「オキ」

「ドローイズ」

「ローライズ」

「……
んーとまあ」

「ガーターの
黒か……」

ひょっとして
この先輩……

ほんとう
わたしたち
本場に私達のパンツを
えん
運んでらっしゃる——!?



駄目だ!
この人本場に駄目だ!

黒ちゃんには悪いけど
全女子生徒を代表して
う私達が責す!

そんな女子陣の
思いが届いたのか
21手目

書庫ルーレットが
指し示したのは



チームブラック
球磨川だった

「……」

球磨川くんの手札は
A4枚にK3枚

出せるカードはないから
ここでリタイア確定! それとも



それともあるんか？
ここからでも逆転できる
球磨川流の戦略が！

「……トランプって
本当」

「不思議な
カードだよな」

「ICチップが
埋め込まれてる
わけじゃない」

「お金を引き出せる
わけでもない」

「まして武器になんて
なるはずも
ない」

「誰も仕掛けもない
印刷物なのに」

「負ける奴は
負けるように
できている。」

チームブラック
球磨川禊

何をすることもなく
ここで失格――

けどまあ
公平な条件下で戦うなら
球磨川禊もこれくらいかな……

……意味深で
それっぽいことゆいて
虚勢張るんが第一杯か

YES!

にやいにやーん

しかし45手目
喜々々々々

リタイアノ

……ないわ

赤48手目
青賞

リタイアノ

~~~~~  
リタイア

大49手目  
大刀洗新子

~~~~~  
空気が再び
一転する

チームレッドも
飯塚を皮切りに
失格者を出し始め

その現象が逆に
テーブルから「気付き」
を剥奪した

鍋島のそんな落胆が
伝達したように
この先一気に
場の空気は変化する

以降ゲームは滞りなく
スムーズに展開するのだった

1喜界島	失格
2雲仙	◇8(1)
3財部	◆9(1)
4与次郎	◆6(1)
5飯塚	♡8(4)
6飯塚	◇9(4)
7森	♡10(1)
8希望が丘	◆5(1)
9財部	◆4(1)
10喜々々	◆8(2)
11飯塚	◇8(4)
12大刀洗	♡8(3)
13財部	◆5(4)
14十二町	♡9(2)
15上飯澤昌	♡8(2)
16雲仙	♡3(1)
17十二町	◇8(3)
18飯塚	◇4(4)
19財部	失格
20上飯澤昌	♡9(3)
21球磨川	失格
22希望が丘	◆3(4)
23上飯澤昌	◇11(1)
24飯塚	失格
25飯塚	♡12(1)
26飯塚	失格
27大刀洗	◇2(4)
28飯塚	失格
29森	◇1(4)
30雲仙	♡2(1)
31上飯澤昌	♡13(1)
32希望が丘	失格
33十二町	◇5(3)
34大刀洗	◇5(2)
35森	♡10(4)
36与次郎	◆10(3)
37上飯澤昌	♡1(1)
38十二町	失格
39上飯澤昌	◇10(2)
40上飯澤昌	失格
41森	♡4(3)
42喜々々	◆4(2)
43森	♡3(2)
44与次郎	◆3(3)

()内は順位

なぜならこと
最終局面に至って
あからさまになったからだ

チームブラック
エブロン同盟が

チームレッド
委員会連合に仕掛けた
戦略が！

あからさまに
なるに
決まっている

なにせプレイヤーが
与次郎次業と
雲仙真利の
二人だけとなり

二人とも手札が
残り一枚であるにも
かわらず

場にはまだ
11枚分ものスペース
があるのだから

え…？
ありえるの
こんなこと

デッキをふたつ
使ってるのに

「七並べ」が完成しない
なんて偶然…！

…ありえる
わね

偶然♡
でなければ
だけど

とんでもない
奇策を打ってくるわね
あなた達

まともな
陣取り合戦じゃ
敵わないと見て

チームレッドの
全員失格による
勝利を謳うだなんて!

やっぱりの
喜界島さんの案は
計算ずくだった……いえ

言うまでもなく
喜界島さんだけじゃ
ないわね

おそらく
チームブラックの
失格者はほぼ全員!

まだ出せるカードを
持ちながら
あえて失格を選んだ!

そう——
その通り

チームブラックの
純粋な失格者は
実は球磨川
ひとりである

彼らは中盤戦以降
場に出せる数字が増える
手札は提出しないという
制約を設けて動いていた

たとえばこういつた
局面においては

4や10のカードを持っていたも
出さないと決めていた

つまり
通常の七並べで言う
「6止め」「8止め」を

あろうことかパス一回で
失格になるこのゲームで
実行していたのだ

「バス禁止」のルールを
「七人チームだから
六回まではバスできる」
と解釈したのね

そして喜界島ちゃんの
素性が1手目から
だったのに更なる
戦略的な理由がある♡

あなたは早い段階で
ルーレットから黒の目を
ひとつ選んでおきたかった！

結果公平なはずの
ルーレットは
実際7:6の状態で

チームレッドに傾いた状態で
ゲームは始まったのよ！

その後もルーレットの傾きは
7:4やひどい時には
5:2まで広がりが続けた

傾いてくれば
ここまで49手中
32手が私達♡

これじゃあ崩せる
カードも尽きて
当たり前よ

要は手番を多く
回すことで
私達の失格率を
高めたんですね

津川先輩！

「……」
「さつきから」

「休日に
話してるのさ
赤さん」

「悪いけど僕
確率の計算なんて
できないよ」

いや僕かに
らしくない作戦
ですけれど……

でも僕の確が
こんな奇策を……

……生徒会に
入ってから

洗濯さっぱり
足を洗ったけど

ごめんね
ならしたもんなんだ

はめつの
かった

びよーてき
ぎゃんぶる…

喜界島…

もがな!!

ゲーム中の相談は禁止やけど
ゲーム前に足並み揃えるのは
ありやからな

しかしそれにしあって
エリートには悪いもやらん
無理心中やわ

…なるほど
オモシレエ

だけどその作戦には
大きな穴があるだろうが

どれほど手番が
回つてこようと
アカつちまえば
関係ないだろうが!

出ました!
50手番は
喜仙さま!

カード編出を
お願いします!!

テメーラのいじましい
作戦は

このエリス1枚で
終わらだよ!!



おい融通……
テメーさつき

なんで
言い直した？

あんときたよ！
ルーレットについて
説明するとき……

テメー
⑮って言いかけて
⑯って言ったろ！

あれなんで
言い直した！？

……憶えて
いませんが

言い直したのだと
すればそれは
言い間違えたから
だと思いますが……

このルーレットは、
⑮～⑰までですが、
⑮～⑰はすべて
ルーレットに落とされ
プレイヤーが負け
ますので、

このルーレットは、
⑮～⑰までですが、
⑮～⑰はすべて
ルーレットに落とされ
プレイヤーが負け
ますので、



ほんとう
本当に
間違えてたか？

ほんとう
本当は
⑬だつたのに！

くまがわの説明に
引つ張られて
⑬を⑬だと思ひ込んだと
いうことはねーのか？

!?



どうしたの
雲仙くん？

くまがわ先輩の
ナンパリングが
間違えてたって
こと…？

違う！
間違えたのは
オレ達だ！

くまがわは意図的に
ルールを一個
増やしてやがつたんだ!!

「…増やしてなんか
いないさ」

「長者屋さんに
気づかれず
それは無理だ」



「ただ僕は
分かっただけだよ」
「長者屋さんの定めた
赤黒七並べの
ルール⑪を！」

「ぶった切って
⑪と⑬に
分替しただけ！」

「ナンパリングは
だからズレただけ
なんだぜ」

⑪と⑬…？
えっと確か…

バス禁止のルール
あたりだったっけか…？

ああそうさー
おそろく元は
こうだったろう
ルール⑩を

- ⑪パスは禁止。カードが出せなく
なった時点で失格。
⑫失格者の手札は廃棄。

- ⑪パスは禁止。
⑫カードが出せなくなった
時点で失格。
⑬失格者の手札は廃棄。

この職業すべき
マイナスやうう
通負荷野郎は！

こんな具合に
分割したのさ！！

いいやでも
なんでそんなこと
したんだ？

文面を変えた
わけでもないし

分割しても意味は
変わらないだろ？

それが
変わるんだよ

「⑪パスは禁止。カードが
出せなくなった時点で
失格」と
「⑪パスは禁止。
⑫カードが出せなく
なった時点で失格」
じゃあ

意味が全然
違うんだ！

ルール⑩に無視しない
ようにオレはここで
最後のカードを
出すしかねえ

これでオレの
手札は0枚な
わけだが

じゃあこの後
手番が来たら
オレはどうなる？

え？アガったんだから
もう手番なんて…

あ！いや
違う！

ええまったくまったく
違いますね！
⑦カードを使い切る
ことは勝利条件では
ない！

そして
そうなるよ！

今度（こんど）はルール⑩に
触れる！

⑩カードが出せなく
なった時点で失格！

つまりその場合（ばあい）
あなたは全員失格
でえー

わたしたち
私達の

勝利だ！！

たまたま
残った奴が
偉そうに……

本来（ほんらい）パス禁止（きんし）ルールの
補足（ほそく）に過ぎ（すぎ）なかつた
文章（ぶんしょう）を撤（て）立（て）させ

アガリすら禁止（きんし）する
激（げき）進（しん）しのルールを
作（つく）つた……

不利（ふり）な戦（いくさ）いと見（み）做（して）
ゲームが始（はじ）まる前に
既に（すでに）イカサマを
焼（や）けている……

正（ただ）にスリルとリスクを
天秤（てんべん）にかけた
分の（ぶん）悪い（わるい）賭（か）け

球磨川（くまがわ）先輩（せんぱい）

「これはあなたで
いいんですよ？」

「そうだよ」

「これが
球磨川」

「嫌われ者の
ギャンブルだ」



「ただしイカサマ
呼ばわりは心外!」
「ねえ鍋島さん?」

せやなあ……
ブレイ前に全員の了解
得とるわけやし

これではさすがに
反則は取れんなあ

むしろこれは
見くびってもうたことを
謝らなあかんわ

見張り役のウチの到着を
待たずにそそくさと
その辺の説明を終えとったんも
作戦のうちやろ?

「そりやもちろん
その辺の配慮も
怠らなかつたけどね」
「僕が警戒したのは
やつぱり考案者の
長者原くんさ」

「種論」ルールの説明は
わたくしめが」のひと言で
おしまいだし」
「色々考えてたけど
ナンパリングをひとつ
差し込むのが精一杯だった」

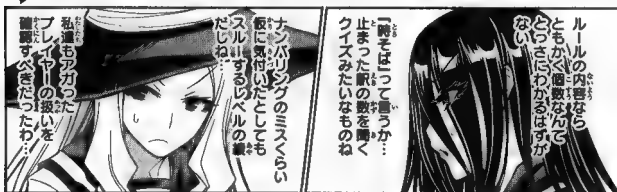
「言い間違いで済む
ぎりぎりの線だ」
「正直生きた心地が
しなかつたよ」



「わたくしめの
不見識を利用した
のでございますか
鎌倉さま」

「僕もめだかちゃんも
きみには色々お見舞い
されたからね」

「その屈辱は
快気祝いだと思って
受け取ってよ
長者くん」



ルールの内容なら
ともかく個数なんて
とっさにわかるはずが
ない

「時そば」って言うか…
止まった駅の数を開く
クイズみたいなものね

ナンパリングのミスくらい
飯に気付いたとしても
スルにするレベルの
さじね

私達もアガった
ブレイヤーの扱いを
確認すべきだったわ



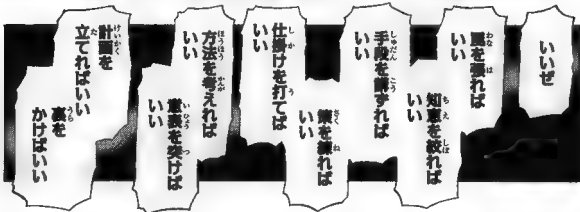
それでもあくまで
「ゴネ」続けられ
反則を取れなくは
ないと思うけど

どうする
黒仙くん……？

…呼子
こつち来い

そして敵連
ルールットを
回せ

よろしいので
ございますか？



いいぜ

風を強れば

知恵を絞れば
いい

手段を講ずれば
いい

策を練れば
いい

仕掛けを打てば
いい

方法を考えれば
いい

意表を突けば
いい

計画を
立てればいい

裏を
かけばいい

それを
見下せるから

オレ達たちは
委員長いんちようなんだ！

なおこの時点で
チームブラック
最後のひとり

与次郎次葉の持つ
カードはK

つまり無仙が
次の手番で失格と
なるように

与次郎も次の手番での
失格が確定している

既に確率上の偏りは
なく
チームブラックと
チームレッド

その勝率は
純粋に五分五分で
ある

人として十年も生きれば
誰かが悪い知る

「結局のところ
人生は「たまたま」だ」

「たまたま生まれた国」
「たまたま育った環境」
「たまたま出会った人」
「たまたま目覚めた才能」
「たまたました努力」

「そんな「たまたま」だけで
すべてが決定する」



そしてこのとき
「運命を決する魔針盤」
とやらは

十三回の
仕切り直しを経て

たまたま
与次郎次葉を
示した……



それでは
赤黒七並べ

規定に基づき
チームブラックの
全員失格により
チームレッドの勝利です

補エブロン周回
取り決め通り

委員会適合に
権限されることと
相成りましてございます



勝った…

ガッ

ふう…

ガッ

勝ったね…

ガッ

勝って嬉しいって
本当いつ以来かしら…

お見^みそれしました
せんばいがた！
わたしたち
私^ま達の負けです！

何^{なに}かと不^ふ勉^{べん}強^{きやう}な
わたし
私^わ達^たですが今^{こん}後^ごの
ご指^し南^{なん}よろしく
お願^{ねが}いします！！



あ……うん

なんだよ
しおらしいな

はは

まあ
こちらこそ
よろしく……

私^わもヨロシク
雲^{うん}仙^{せん}先輩……

コ4

それ^{それ}で裸^{はだか}踊^{おど}りは
いつすれば？

カ4



「……」

「やれやれ」

「敗^{はいて}軍^{ぐん}の将^{しょう}は
寂^{さび}しいねえ」

「ま大刀^{たいとう}洗^{せん}さん」
「こんなことに
なっちゃったけど」
「僕^わのことも
どうかよろしくね」

うん……

「……」

……

おめでと~~~~~
これで目撃見通し

ほたるかない

はたか
裸エフロン同盟は
委員会連合に
もぐりこめたね
~~~~~

今日は最初から  
興けるために  
来たんでしょ??

星達の顔を立ってつ  
下から連立を  
して伏せようって  
原隊なんだよね??

だからみんなインパクト  
だけの作戦で本道に  
通てそつになつたとはほ  
ろは無つてたでしょ??

大丈夫大丈夫  
照つてあげよう  
~~~~~

本書じや私達も
裸エフロン同盟とは
顔みだつたわけだし
~~~~~

驚いたりすかしたり  
サフライスを仕掛けつつも

星達は私達に花を  
持たせる暇いかにせ  
好意もてません??

けどあんま  
なめんなよ？

勝負を

そして  
人生を！

はたかなー

勝ちちゃん！

やったね！

た た た

もちろん  
スコアの上では  
負けだけど  
大逆風だよな！

ヒッ

ヒッ

うん！  
これはもう勝ちって  
言っちゃっても  
いいんじゃないかな！

「……」

「いや」

「また  
勝てなかった…」

「どころじゃ  
済まないかも…」

委員長達は  
後に語る。

正にリスクヒスリルを  
天秤にかけた  
分の裏に賭け

球磨川先輩  
「これはあなたで  
いいんですよね？」

「なぜ彼女は  
自分か引、かか、た作戦を  
あおもノリノリで  
解説するのだらう……」



混沌こんとんよりも  
這はい寄よるマイナス  
球磨川くまがわ禊ぎ

これは彼かれが

箱庭はこにわ学園がくえんに  
転校てんこうしてくる  
少しすこ前の物語ものがたりである。



《外伝》  
グッドルーザーくまがわ





〈外伝〉

# グッドルーサー 球磨川

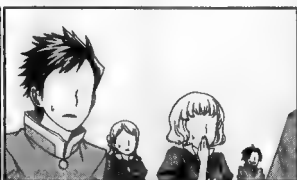




「週刊少年ジャンプから  
転校して来ました  
球磨川様です」

「名門  
水橋学園の  
みなさん」

「よろしく仲良く  
してくださいっ！」



あはははは  
何それ！

うつける  
~~~~~  
うつ！

なんか面白い
転校生が
やってきたぞ
今日は！！

「笑^わうな。」



「人の冗談^{ひと じょうだん}を
笑^わうなんて」

「人^{ひと}として
最低^{さいてい}だぞ
お前^{まえ}達^{たち}！」





はっ!!



「転校生の挨拶代わりに
クイズを出しますー」
「もんだーい!」

「朝は読み切り
昼は締め切り
夜は打ち切り
なーんだ!」

「答!」
「新連載!」



誰だ：
一人

にこりとも
しなかったと
いう。



おい：
なんなんだよ
あいつ…

俺
あいつと卒業まで
同じクラスでやってく
自信ねーよ…

大塚 本当は
どこから転校
してきたんだ？

なぜか配属は
「なかったこと」に
なってるらしい
けど…



絶対に
興わりたくない
…

けどそういう
わけにも
いかないよね

転校してきた以上
誰かが連れて
いかなきゃな

あの
転校生くんを

水橋学園の…
生徒会員のところへ



「いきなり
泣いたりして
ごめんね」
「ただ
嬉しかったんだ」

「せみがそうやって
僕に話しかけて
くれたことが」

「今まで色んな
学校に転校して
きたけれど」

「女子に声を
かけてもらえたのは
初めてだったから」

「で」

「たぶんジャンケンに
負けたか何かだと
思っただけど」

「何の用？」

け

ろ

？

あ…あのね
球磨川くん
転校したで
忙しいとは思
うんだけど

ちよっと
会って欲しい人
がいるんだよ

本当ちよっとだけ
なんだけど…

「会って欲しい
人？」

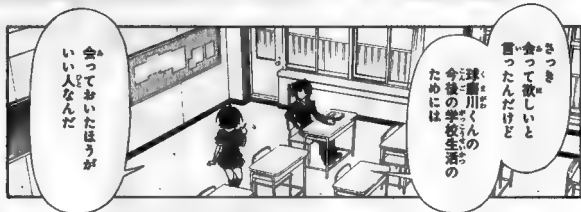
うん…
その

この学園の
生徒会長さん
なんだけど

蛇籠飽 じゃかこあき

生徒会長って
言うか

事実上
この水稲学園の
支配者だけど



さつき
会って欲しいと
言っただけど

球磨川くんの
今後の学校生活の
ためには

会っておいたほうが
いい人なんだ

大要領に
聞こえるかも
だけど

実際、彼女の機嫌を
振ねて学校を
辞めていった人も
たくさんいるの

「ふうん」
「でも所詮は
高校生でしょ？」

「支配者ってのは
やっぱり大要領じゃ
ない？」

…やつぱり
そう言うよね

だけど

すぐにそんなこと
言えなくなるよ



蛇籠会長の
固有スキル
『遊酸素運動』

「酸素を操るスキル」を
目の前にしたら

「……」

「酸素を操る
……」

ああ……ちよつと
睡り過ぎたかな

本当ちよつとだけ
だけど

とにかく一緒に来て！
でないとクラス全員
たじや済まない
だけど！

「そりやあ
ますい」
「もちろん」

カッ

「僕はクラスの
仲間のためなら
喜んでこの身を
投げ出すよ」

「それにそのスキルは
ひよつとすると」

「僕の探している
それかもしれないしね」

水樹学園 生徒会室



ようこそ
水槽学園へ

心より歓迎
いたしますわ



球磨川 諷

さん

水槽学園生徒会
生徒会長職
蛇籠 鮑



水槽学園生徒会
庶務職
花熟理 桃



水槽学園生徒会
書記職
坂之上 雪



水槽学園生徒会
会計職
般若寺 夏



水槽学園生徒会
副会長職
練兵 鷹





ああああっ…

かつ…は



…コツなんて
ありませんわ
球磨川さん

水墨画でも
描くように！
酸素の濃度を
調節するだけすわ

ほんのそれだけの
ことで人は

酸欠にも
過呼吸にも
酸素中毒にもなる



わたくしはスキルを
持っていることが
偉いだなんて思いません

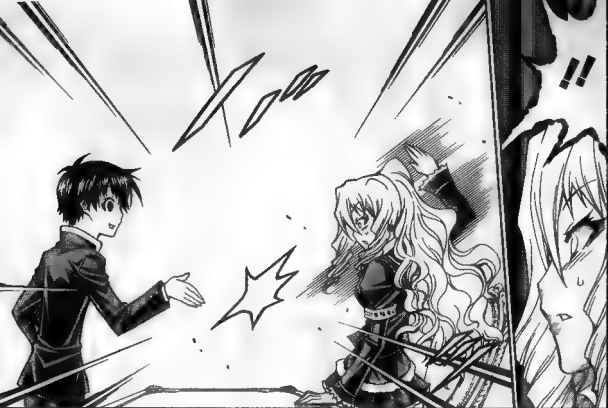
今の時代
能力も才能も
大抵は道具で
補えるのですからね

だけどわたくしの
「酸素濃度調整」が
人間を支配するのに
最適なスキルであることは
確実ですわ

呼吸をしない
人間なんて
いないのですから

「……」









貴様！
蛇籠会長に
何を…!!

そこを
動くなっ…!!



あゝあ
もう！

てめーが
真逆さるっつーんだよ
蛇籠オ

もちろんその
胸の良さを
買って

貴様はてめーを
生徒会長に
しておいたんだけどよ！

あんな危険分子を
ぼつとくしかねーわけ
ねーだろがアホ！

とは書え

だけどめーはひとつだけ
正しいことを書ったぜ

運命者よりも
運命者のほうが
偉いように

確かに世の中つてのは
スキルを持つ奴より
スキルを持つ奴を
使う奴のほうが偉いんだ



つまり

俺様おれさまが一番偉いばんえら

支配者しはいしゃを
支配しはいするスキル

エラーメッセージプレート
「操作令状」!





ご機嫌よせ
球磨川さら

わたくり
やつぱら
あなかを

こね水櫃かり
遣い出すこたの
しまさてわ!



「……」
遣い出すらる
理由を知ら
たれですか?

「……」
連れてさし上げ
まそう

「……」
そらはこの学園に
とつてとなたが



「……」
いいや

「……」
大体
わかった

「……」
きみが誰かの
傀儡だつて
ことはね

「……」
予想通りつちや
予想通りかな!

「……」
思を止めれば
我慢できるような
チンケなスキルが

「……」
僕の探している
スキルははずが
ない!



「いや
崩れ……!?」

「えっ……!?」
「螺子が折れ
……」



「酸化」を
自由「壊れる」
音」でな

「酸化」を
自由「壊れる」
音」でな

「酸化」を
自由「壊れる」
音」でな



更に言うなれ
球川せん

「酸化」を
自由「壊れる」
音」でな

「酸化」を
自由「壊れる」
音」でな

「酸化」を
自由「壊れる」
音」でな

「酸化」を
自由「壊れる」
音」でな



立ち上^あがつぼ
!?

馬鹿^{ばか}ふ!
もろに喰^くけつと
はぜー

「訂正^{ていせい}する」
「自分で
喰^くらってみて
わかったけど」

「これは
チンケなスキル
なんかじゃない」

「正^{ただ}に人を支配^{しはい}する
ためにあるような
スキルだぜ」

「遊戯^{エグゼ}素^{ロバイ}運動^{カイ}」
「しかし」

「だけどそれでも
駄目^{だめ}なんだ」



「人を支配する
スキルじゃあ
人外である」

「安心院さんは
倒せない」

安心院さん
…？

…誰？

「二重」というより
「二重」だよ

「それより
見せてくれない
かな」

「総務さんが暇なだけに
期待は薄いけど」
「他の四人だって
スキルホルダー
なんだろう？」

こっ！
言わねなら
たも！

水量を操るスキル
「四分の一の質量」！

音速を操るスキル
「音速の太さ」！

性欲を操るスキル
「下劣な大道芸」！

如能を操るスキル
「退化論」！

「みんな
駄目^{だめ}。」

な…
に…

どけい
う
こまなね…?

まるで「時間」で
「なかったこと」ね
なっけかめとうな

「これが僕の
マイナスだぜ」

「すべてを
なかったことに
する」

「この世でもっとも
取り返しのつかない
スキルなんだ」

生徒会





そ…そこな
神様みいいな
スキル持ちながら！

どうした 別ぎ
スキルホルダーを
探めていらの!?



「僕としては珍しく
必要だから
探すのさ」

「愛しの安心院さんを
完全に倒し尽くす
ためには」

「これじゃあ全然
足りないからな」

「…怯えないでよ
蛇蔵さん」

「きみと勝ち負けを
競うつもりなんて
ない」

「というか」
「操られてるきみと
戦わされてる時点で
僕の負けだ」



「見逃してあげるから
五秒以内に消えな」

「申し訳ないけど
僕は気まぐれ
過ぎてさ」

「五秒以上
気が変わらない
自信がないんだ」

そ…そう

わかった…
そめじやあ

「ごめん
気が変わった。」

!?





一秒も
経っけ…

めい…
のに…



「だからさ」
「五秒以内なら気が
変わらない」

「という気が
変わったんだよ」

「急に女の子を」
「背中から刺して
みたくなったのさ」



……

おお…

うそ…

つき……



「そう」

「大嘘憑き」!

「名前だけでも

憶えて

帰ってね」



少なくとも
このクラスの
生徒は

みんな
球磨川くんの
味方だから！





「……………」

ね？
だからお願い
球磨川くん

支配者が
誰であろうと
私はこの学園が
平和であれば

それで
いいのよ



「…しょうが
ないなあ」

「須木泰佐木
さん」

「きみには
負けたぜ」

くら…

一か月後
水榭学園は
廃校になる

それが
ここから始まる
球磨川さんと
須木泰佐木さんとの
勝者なき戦いの
結末であることは

もちろん
言うまでもない。

あんしんいん だれ すいそうたいさく
安心院の誰だこいつら水槽対策①

会ったこともない人達を紹介しろと言われてもねえ。まあでも幸い、水槽学園にも僕の端末は選ばれていたわけだし、その辺から統合した情報を元に今日は講座を開くでしょう。この子の「操作令状」、本人の触れ込みでは「支配者を支配するスキル」だそうだが、これを僕なりに言い換えると「支配しようという気持ちを支配するスキル」となる。要するに人ならば誰でも、多かれ少なかれ持っている支配欲を操るってことだ。支配欲の強い人間ほど、このスキルの前では無力化されるというわけさ。厄介極まりないスキルではあるが、弱点がないわけではない。それは須木奈佐木さん本人と同じような、黒幕タイプの支配者には効かないってことだ。だから球磨川くんが言うところの「安心院さんを倒すためのスキル」としてはやや弱い——と僕としては思うんだけど、しかし球磨川くんとしては圧倒されたようで、しばらくの間、彼女と楽しく遊んだようだよ。球磨川君と須木奈佐木咲。この二人の決着がどのようについたのかは、僕の端末さえ知らない。まあハッピーエンドはなさそうだけど、球磨川くんがこのあと箱庭学園に転校したところを見ると、まあそういうことなんだろうなあとは推理できるね。



すき なさ きさき
エラメッセージブレード
「操作令状」



支配された支配者、哀れなる傀儡というわけだけれど、まあ本人的には楽しい学園生活だったみたいだから、案外そんなに不満はないかもね。支配される、つまり決定権を他人に委ねるというのはある種の快感だぜ。その快感を是とするか非とするかはおのおのの才覚次第だ。で、この子の「遊酸素運動」、酸素を操るスキルへの対応策だけれど、これははっきり言って、ない。やられたあと復活するしかないね。そして距離をつめて、零距离で攻撃すれば、物理的には勝てる。あれは零距离ってわけじゃないけれど、須木奈佐木さんの「操作令状」をかわせなかったことからわかるよう、防御力のないスキルだからね。で、球磨川くんがどうしてこのスキルを「不合格」としたかという、まあ僕が人外だからなんだけど、もうひとつ、僕が似たようなスキルを持っていることを彼は知っていたからというのもあっただろう。僕の場合は酸素を操るというより酸素分子を操るといったほうが正確なんだけど、同タイプのスキル同士がぶつかればあとは実力勝負になってしまうことを彼ほど実感している奴はいないって話さ。引き際を心得ている人間、僕は嫌いじゃないんだけどねえ。



じゃかごあき
蛇籠鮑
エアロバイカー
「遊酸素運動」

あんしんいん だれ すいそうたいさく
安心院の誰だこいつら水権対策③&④

水権学園の生徒会執行部メンバーが、箱庭学園のそれに比べてやたら華やかなのはなんでなのかね。まあ「操作令状」によって完全に統治されていた水権学園では、裏返せば争いが起きにくかっただろうから、お洒落に気を回す余裕もあったんだろうね。もっともとは言うものの、彼女達のスキルはなかなか突出している。「知能を操るスキル」である「退化論」は、対象の知能を下げるという、逆スマートドラッグみたいな嫌なスキルだし、「性欲を操るスキル」である「下劣な大道芸」は、これは対象の性欲を上げる一種の興奮剤のような嫌なスキルだ。めだかちゃんだったら、これらを上げ下げ自由な形に「完成」させるんだろうね。「完成」自体、「観察する」以外にも「体験談を聞く」という形でも使えるようになったわけだし、今度体験者を紹介してみようか。スキルの話はおいといて、この二人、役員としてもかなり優秀だったらしいという豆知識も披露しておこう。あの好き勝手な会長を実務において主にこの二人が支えていたのだから。ただの純真どころじゃないってことかな？ま、人間はどうせ須木奈佐木さんなんだろうけどね。



れんべいいや

練兵衛

ザッピングスタディ

「退化論」

はんにか じうき

般若寺憂

エロティックビエロ

「下劣な大道芸」

なんてけしからん格好をしているんだろうね、この二人は。めだかちゃんと気が合いそう
で仕方ないじゃないか。般若寺さんに性欲を操られているのかもしれない。そう考えると
なんだか怖い生徒会だ。「賭博師の犬」は「奇跡を操るスキル」ということだけれども、
これはいわゆる確率操作だ。奇跡を自由に起こせるわけではなく、起きたかもしれない奇
跡を起こせるスキル——つまり確率ゼロの奇跡は起こせない。それが球磨川くんに不合格
扱いされた理由かな？ 僕は会ってみたかったけどねえ。「水量を操るスキル」である「四分
の一の貴重」は、蛇姫さんの「酸素を操るスキル」と双璧をなすイメージだが、本人が気
付いていないだけで、僕に言わせればこちらのほうがすさまじい。だって水は化学式では
 H_2O 、つまりその中に酸素分子を含んでいるんだから上位互換だぜ。水分を操れる彼女こ
そ、水槽学園の長にはふさわしかったのでは…と思わなくもないけど、まあこればかり
は語ってものがあるからね。人の上に立つための器。さて、生徒会長になることを決意し
た人吉くんだけれど、彼にはあるかな？ そのための器が、そしてめだかちゃんと張れるだ
けの器が。なきゃ負けるだけだけだね。



けじくりとう
花熟理桃
クォーターハザード
「四分の一の貴重」

さかのうえかえ
坂之上替
ギャンブルドッグ
「賭博師の犬」





たち あらい ざる こ
大刀洗斬子

Q	10	9	5	2	8	2
♦	♦	♦	♦	♦	♠	♠

フランドール セブン かい し し
「赤黒七並べ」開始時



チームレッド
手札 てまだ



しゅう に ちょう や ふみ
十二町矢文

9	Q	K	2	5	6	K
♥	♥	♥	♦	♦	♦	♦



うん せん かい り
雲仙冥利

A	2	3	4	5	6	8
♥	♥	♥	♥	♥	♥	♦



かみ じ つ ろ つえ
上無津呂杖

A	6	9	K	3	10	J
♥	♥	♥	♥	♦	♦	♦



あか あお き
赤 青 黄

3	4	5	10	10	A	K
♥	♥	♥	♥	♥	♦	♦



いい つか くらう ひと
飯塚食人

8	J	A	3	4	9	J
♥	♥	♦	♦	♦	♦	♦



めく す の
廻栖野うずめ

J	Q	4	6	8	Q
♥	♥	♦	♦	♦	♦



さ ほろ あか ずい しょう
希望が丘水晶

2 ♠ 3 ♠ Q ♠ 4 ♣ 5 ♣ 5 ♣

フラッシュイセファン かい し し
「赤黒七並べ」開始時

BLACK

チームブラック
手札 てみだ



むに づか しょう り
鰐塚処理

6 ♠ 6 ♠ J ♠ 6 ♣ 10 ♣ J ♣ Q ♣



よ し ろう づき は
与次郎次葉

10 ♠ 10 ♠ 2 ♣ 3 ♣ 6 ♣ 8 ♣ K ♣



き き づ き き
喜々津嬉々

2 ♠ 5 ♠ 8 ♠ 4 ♣ 9 ♣ 9 ♣ Q ♣



たかづ べ い ま
財部依真

4 ♠ 4 ♠ 5 ♠ 8 ♠ 9 ♠ Q ♠ 2 ♠



く す かわ みさき
球磨川禊

A ♠ A ♠ K ♠ K ♠ A ♣ A ♣ K ♣



き かい しま
喜界島もがな

3 ♠ 9 ♠ J ♠ 3 ♣ 8 ♣ 10 ♣ J ♣

次巻、善吉とめだかの



ス
テ
ア
イ
よ
〜
い



直接対決の結果は!?



デビル上等

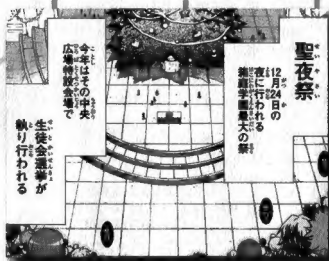
しかし俺こそ
反骨精神の塊

骨なんざ最初から
一本筋らず
反ってるぜ!

学園最後の戦い決着!!!



安心院の企みの正体は!!



めだかボックス 第16巻

2012年

7月発売予定!!

■ジャンプ・コミックス

めだかボックス

国「勝ち」とはなんだ？」

2012年4月9日 第1刷発行

著 者 西 尾 維 新

©NISIOISIN 2012

暁 月 あ き ら

©Akira Akatsuki 2012

編 集 株式会社 ホーム社

東京都千代田区神田神保町3丁目29番 共同ビル

〒101-0051

電話 東京 03(5211)2651

発行人 鈴 木 晴 彦

発行所 株式会社 集 英 社

東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号

〒101-8050

03(3230)6233(編集部)

電話 東京 03(3230)6191(販売部)

03(3230)6076(読者係)

Printed in Japan

製版所 株式会社 コスモグラフィック

印刷所 凸版印刷株式会社

造本には十分注意しておりますが、乱丁・落丁
(本のページ順序の間違いや抜け落ち)の場合は
お取り替え致します。購入された書店名を明記
して、集英社読者係宛にお送り下さい。送料は集
英社負担でお取り替え致します。但し、古書店で
購入したものについてはお取り替え出来ません。
本書の一部または全部を無断で複写、複製する
ことは、法律で認められた場合を除き、著作権の
侵害となります。また、業者など、読者本人以外
による本書のデジタル化は、いかなる場合でも
一切認められませんのでご注意下さい。

ISBN978-4-08-870421-0 C9979

